

氏 名：川崎 千恵
学 位 の 種 類：博士（看護学）
学 位 記 番 号：甲第 150 号
学位授与年月日：2017 年 3 月 10 日
学位授与の要件：学位規則第 4 条第 1 項該当
論文審査委員：主査 片岡 弥恵子（聖路加国際大学教授）
副査 麻原 きよみ（聖路加国際大学教授）
副査 中山 和弘（聖路加国際大学教授）
副査 上野 昌江（大阪府立大学教授）

論 文 題 目：乳幼児を育てる母親の地域とのつながりを生む地域交流活動への参加と子育て・健康認識の関連

博士論文審査結果

本研究は、乳幼児の母親を対象とした地域交流活動の機能とその実態、地域交流活動の機能間の関係、地域交流活動の機能と母親の子育ての認識及び健康との関連を明らかにするために、自記式質問紙を用いた量的記述研究であった。405 名の母親から回答からを得た。地域交流活動の機能を測定する「地域交流活動尺度」は、確認的因子分析の結果、5 つの下位尺度「グループ・セラピー」「母親の自己の回復」「母親へのサポート」「母親のソーシャル・キャピタル」「地域や地域の人とのつながり」のモデル適合が確認された。共分散構造分析の結果、5 つの機能は直接・間接的に関連し合いながら働くことがわかった。地域交流活動の機能と母親の子育ての認識や健康との関係について重回帰分析の結果、『地域や地域の人とのつながり』等 4 つの機能との関連が認められた。

審査において議論されたのは、以下の 4 点である。第 1 に、研究目的、結果、考察の論理的一貫性についてである。目的表現がやや抽象的であったため、結果、考察にて何を明らかにしたかったのか混乱を生じさせた。目的を具体化し、優先度を加味した表現に修正された。結果についても、すべてを記述するというよりも目的に対応させ焦点化して表現するよう求められた。第 2 に、「地域交流活動尺度」の信頼性・妥当性の示し方について疑問が出された。本研究は、尺度開発が主要な目的ではないが、作成した尺度の下位尺度構成、妥当性の検討として示された確認的因子分析の結果の解釈などが議論され、そのプロセスの記述の修正、今後の課題として尺度の洗練等が加筆された。第 3 に、考察の記述について、結果の裏付けとなる研究の追加、本研究の対象者の特性と結果の適用、地域づくりの重要性について深める必要性が提案された。第 4 に、より効果的な図表の作成について指摘された。これらの指摘点に対し適切に修正され、最終的に本研究の限界を明確化し、今後進めるべき研究の方向性も論述することができた。

地域交流活動は単なる母親のお話会ではなく、様々な機能があること、これらの機能間の関係、母親の健康との関連を初めて示した研究であり新たな知見が認められた。審査の過程では、困難な指摘にも粘り強く取り組み、謙虚な姿勢でより正確な記述に努め、研究者として必要な姿勢を貫くことができた。以上により、本論文は、本学学位規程第 5 条に定める博士(看護学)の学位を授与することに値するものであり、申請者は看護学における研究活動を自立して行うことに必要な高度な研究能力と豊かな学識を有すると認め、論文審査ならびに最終試験に合格と判定する。